

英数学館中・高等学校の休校中の取り組み その2

教育のオンライン化の準備と授業構築

～子どもの命・健康とともに、学びの機会も守るために～

休校となり 10 日が過ぎました。GW 前のオンライン授業の様子を紹介します。

【4 月 27 日～4 月 28 日】

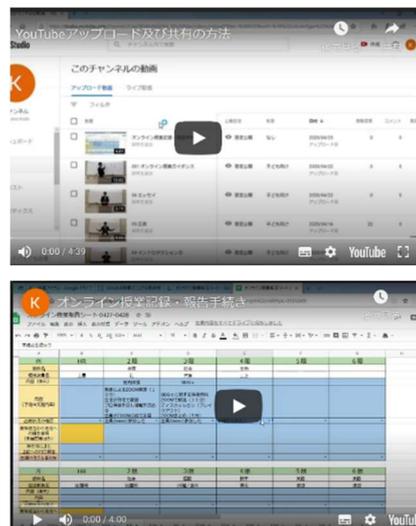
オンライン授業の精度をより高いものへ

YouTube のアップロードや共有の方法を動画で撮影し、教員間で共有しました。教科の特性の違いもありますので、動画をアップし、生徒が視聴するというやり方を選ぶ教員も多いです。

授業準備に費やす時間が不足する中、生徒がきちんと授業に参加できているかの把握をどのように行うかの課題も見つかりました。そこで、ネットワーク上で状況共有できるシート(Google スプレッドシート)を活用し、授業担当が授業後入力することで、担任が即座に確認可能となる仕組みを作りました。

4 月 27～28 日の 2 日間はより通常授業に近い形でオンライン授業を展開し、生徒の学びの取りこぼしのないように学校全体で取り組む期間としました。

授業のオンライン化に向けて、準備することは容易なものではありません。授業の内容、教えること自体はこれまでと変わりはありませんが、ICT 機器を使いこなすことに関し、教員間でも大きな差が生じてしまうのも事実です。



生徒・保護者・教員からのフィードバックも大事な取り組み

教員や生徒のみならず、保護者の方々にとっても、初めての長期休校やオンライン授業の実施で多大なご協力を頂いております。子どもの学習面の進捗のほか、心身の健康の維持についても気になるところです。そこで、休校から1週間の様子を Google Form を用いて生徒・保護者の双方にアンケートを取りました。その回答から対応が必要と感じたご家庭には担任からご連絡を差し上げるなどし、生徒の家での様子、学習の様子などについて、より細かな状況の共有を図り、対策を講じていきました。

教員からもオンライン授業での失敗事例・成功事例の情報を収集、共有し、万一5月以降も休校が継続となるような事態に備えるためにも、より質の高いオンライン授業を学校全体で展開できるよう、日々試行錯誤を重ねています。また、職員室を「密」にしないために、多くの教員が自宅にて業務を行っておりますが、当初、教員間のコミュニケーション不足が問題となりました。そこで、今では教職員朝礼、会議等もすべて Zoom を使った Web 会議システムを用い、教員間の情報共有や意識の統一を図っています。

国際バカロレアのプログラムを実施している IB クラスでは、これまでも iPad(タブレット PC)を多用しておりましたが、教育の ICT 化については、他クラスとの進捗に差がありました。しかし、複数の教員より「今回の休校でアドバンスクラスのオンライン化が一気に進んだ」「学園全体で恒常的に業務効率の向上を図ることができそう(動画のストックを持っておき、教員欠勤時や警報休校時に利用するなど)」との声が届けられています。また他にも「だいぶオンライン授業にも慣れてきたが、まだまだ改善すべきことがたくさんあるので、どんどん取り組んでいきたい。」との声も。厳しい状況が続きますが、ピンチをチャンスととらえ、全教員一丸となって ICT スキルの向上に引き続き取り組んでまいります。



ちょっとここでブレイク！「オンライン授業」ってそもそも何？

オンライン授業は、すべてインターネットを介して行います。教員が学校または自宅から配信し、生徒は自宅で授業を受けます。Zoom などの Web 会議システムを利用したものや、教員が事前に動画をアップロードした映像を視聴しながら受講するものなどが主な方法として挙げられます。

英数学館では、この2つのやり方をメインに現在は授業を展開しています。教員は事前に準備し、生徒とさまざまなやり取りを交わしながら休校中も学びを止めない環境づくりに努めています。

